



第4回会合における事業者からの主な発言

2021年6月4日
事務局

各種利用者情報は、OSの機能や端末のセンサー機能以外の方法で情報が取得できる（例えば、位置情報であれば、GPSを止めてもQR決済の情報からもBeaconからも取得可能。）。そういった点について、現状のプライバシーポリシーの書き方として適切か。【佐藤構成員】

LINE

- Beaconの取得に関する同意をオンにしたユーザーの情報を取得している。
- Payの決済をした場合、位置情報は取得していないが、決済に関する情報（加盟店の店舗数によっては、どの店舗で決済を行ったか）を取得している。
- 決済については、ユーザーにおいてこの店舗で決済をしたという認識はあると思われ、少なくともユーザーにそういった決済に関する情報を取得しているというところは説明できているのではないかと考えている。
- 位置情報についても、位置情報、Beaconをオンにする場合には、通知は行っているが、規約の内容について、わかりづらいというご意見があった点については検討したい。

明確な同意を取得して位置情報を活用しているとのことだが、その位置情報に含まれるものはどのようなものがあるか（GPS情報、Beacon情報、店舗での決済情報等社内で位置情報として分類しているか。）。【小林構成員】

LINE

- 取得している位置情報は、基本的にはGPS位置情報。
- Payの決済履歴やBeaconの情報については、例えば、決済履歴であればこの店舗で決済を行ったという情報もわかるし、Beaconの情報もわかるが、社内では位置情報には分類していない。ただ、いずれも安全に管理している。

パーソナライズや広告配信のためにデータを利用する際の、セグメントや粒度はどれぐらいのものか。プロファイリングについて、意識的にやめていること、セグメント化をやめている内容等、注意している事項があるか。それらをLINEニュースの配信に利用しているか。【山本主査代理】

LINE

- 広告配信のセグメントについては、例えばファッション好き、車好みといった関心の度合いと、ユーザーの年代、属性を掛け合わせた程度（例：ファッションが好きな30代の男性、車が好きな40代の女性等。）
- ユーザーの健康情報、政治的な信条、宗教的なものなどの機微情報を推定するプロファイリングは行わないルールとなっている。PIAを行い、利用者に不利益を及ぼさないような内容になっているかどうかを確認している。
- LINE内の「NEWS」では、一部の掲載エリアにおいてユーザー情報を利用してコンテンツを配信する場合がある。

電話番号やメールアドレスのアップロードについては、LINEとして使っているということはないということだが、LINE広告のリターゲティングタグや広告のタグ、SDKについては、LINEとしても利用しているということだった。広告主サイトに訪れると、LINEが情報を取得することを広告主サイトに行った人が分かるように、LINEとして、広告主サイトでこういうふうに表示しようとか、こういう同意を取ろうといったことを広告主に何かお願いをしているのか。お願いしているのであれば、それが実際に行われているかということを確認しているのか。【太田構成員】

LINE

- 広告主のサイトでLINEのタグを設置して、その情報を取得していることについて、何らかの対応を行っているかどうかについては、LINEにおいて、「LINE tag利用ガイドライン」を設けており、広告主がLINEタグを設置する前に、LINEタグのガイドラインについて同意を取得している。当該ガイドラインにおいてタグの設置者に対して、ユーザーにオプトアウトが可能であることやLINE側での情報取得、取得した情報の利用目的などについて通知・公表するように定めている。
- ガイドラインの遵守状況に関する定期的なモニタリングは現在実施していない。

資料14頁に、LINEとして取得する利用者情報ということで、利用者から直接提供いただく情報と、サービス利用に当たり取得する情報の2種類となっているが、実際には、それら以外にも、例えば、LINE広告のリターゲティングタグが広告サイトに張られていて、LINEが情報を取得している場合、もしくは広告主が持っているメールアドレスや電話番号を、LINE広告の管理画面からアップロードをして、LINEが取得する場合というのもあると考えられる。そういったところについての説明や、LINEとしての考えについて、どのように整理されているか。【太田構成員】

LINE

- LINEのポリシー等において、第三者からもパーソナルデータを取得するということは説明している。
- 公式アカウントの配信時にアップロードいただくメールアドレス等の情報は配信以外には利用していない。
- 広告主サイトに関する情報を利用する場合はある。

利用者から見たときに、自分のデータがどのように取得され、利用されているかというのを、設定画面で見られるのかどうか。【古谷構成員】

LINE

- LINEアプリ内の設定からも、プライバシーポリシーへの動線は設けている。2段階のアクションを踏んでいただいた上で、プライバシーポリシーの閲覧は可能となっている（LINEのWebサイト内からは1段階で閲覧可能）。

透明性レポートが、警察への提供であるとか、削除の問題とかが書かれているが、利用者に対しての説明というか、そういった内容は書かないのかどうか。例えば、何か問題があれば問題のあったこと、あるいは改善があれば改善があったことなども含めての報告の在り方というのを、聞きたい。【古谷構成員】

LINE

- 一般的に全ての事案について公表しているわけではないが、例えば、漏えい事故のようなインシデントがあった場合については、当社のウェブサイトなどで公表しているところ。

プライバシーラベルに関するAppleの取組について、あまり奏功していないようなので、違反についてBANしたりしていないのか。嘘をついていることになるということについて、規制当局は動いていないのか。【板倉構成員】

日本総合研究所

- 強制しているのは2020年12月以降、新規アプリもしくは更新時のみ義務づけているので、2020年12月以降に更新していないアプリに関してはまだラベルに対応していないという状況で、未対応のアプリが多いという状況になっている。
- それぞれラベルとは別に、各アプリ、プライバシーポリシーは別途掲載しているので、その中では嘘にならないところで結構曖昧に広く広範囲に書かれていたりする。そうなってくると、Appleに言っているのは嘘かもしれないが、プライバシーポリシーでは本当だという言い方もできるので、なかなか規制当局も動きにくいのではないかと推測され、具体的に規制当局が動いているという情報は目下見当たっていないと思っている。